

NANIWA26 号

奈良支店に抗議要請、奈良労連とともに

また、お粗末な対応で怒らせたぞ。小森氏の判断は会社の判断。

私たちは、24 日奈良労連とともに近鉄奈良駅前にて、ビラの配布をしました。地協からの応援も含め、30 名近くの仲間とともに 1500 枚近くのビラ配布を成し遂げました。やはり、最近では保険金不払い、業務停止などで紙面を賑わせているためか、ビラを受け取る人たちも、関心を持って受け取り読んでおられました。町の声として特徴的なのは「大手企業はすき放題やっている。がつんと一回しないかな」など経営のあり方についての非難の声を多く聞きました。また、「日勤のときからの客なのに、なんで急に変わったんや、そのままのほうがよかったんちゃうか」などの声も聞かれました。

そして、奈良支店にて、要請行動に入るが、事前に要請に行く旨、告げていたにもかかわらず、奈良支店(自称 2)星業務 GL という方と、今回は関西一円を巡回して回っているらしい、大阪 OBP 前、社前行動ではおなじみの小森関西業務部 GLが対応に出られた。

またもや、玄関の中で要請団と会議室に入れろ、入れないというこぜりあいがあり、奈良労連事務局長と、議長はご立腹されました。一時間四十五分近くもめて、外ではシュプレヒコールで「ちゃんとした対応をしろ」と迫りました。ようやく、小森氏と要請団は外に出てきて、みんなに説明するよう小森氏に迫りました。「あくまでも、私の判断です」といい、汗びっしょりで答えられていました。その姿を見た仲間は「えげつない会社だ。現場の者の責任にするなんて」と、あきれていました。奈良労連議長は続いてこう述べられました。「今の情勢、金融関係はどこでも中に入れて対応するものだ。今回の件で奈良労連としてもこの新大宮東京海上ビルを拠点として、性根すえて抗議をしていく。」と断言されました。

小森氏も要請文を受け取り「本社へ伝え渡す」と言っていました。今後誰に渡してどう答えたか聞きに行くこととします。今後も小森氏の独断での判断は続くのでしょうか。各地方で組織する労連を怒らす対応ばかりでいいのでしょうか。そして、今回はなんとかこなせたのでコンピテンシーは上がったのか、また聞かせていただきたい。コンピテンシーをあげるためにも、またこちらも伺いに行きます。

ひとはみんなのために みんなはひとりのために
全損保日勤外勤支部大阪分会

